ハッピーバースデー

今月で１歳になりま～す

中村 朱里（あかり）ちゃん
今釜町
父・鉄也さん
母・美江さん

わたし、最近のお気に入りはひとりいないいないばあ！あそびなの♡

川元 航輝（こうき）くん
牛深町
父・誠さん
母・亜依さん

いっぱい食べて大きくなってね！

田上 綾音（あやね）ちゃん
北原町
父・智志さん
母・みやさん

いつもかわいい笑顔ありがとう♡明るく優しい子に育ってネ♪

桂田 陽琉（はる）くん
牛深町
父・明俊さん
母・めぐみさん

大きくなったら野球に釣りに楽しみいっぱい☆じいちゃんたちよろしく♡

長島 珊瑚（さんご）ちゃん
志柿町
父・徹さん
母・千春さん

いっぱい食べて病気に負けずに大きくなるね！

大楠 幸輝（こうき）くん
牛深町
父・弘幸さん
母・洋子さん

動物が大好きな男の子です。元気にたくましく育ってね！

濱 絢佳（あやか）ちゃん
久玉町
父・浩司さん
母・春奈さん

２人のお姉ちゃん、大好き♡これからもたくさん遊んでね。

早井 春翔（はると）くん
今釜町
父・英樹さん
母・祐美さん

現在つたい歩きの猛特訓中。もうすぐ１人で歩けるよ！

尾﨑 杏（あん）ちゃん
牛深町
父・浩二さん
母・小百合さん

うちの小悪魔わんぱくガール♡笑顔がとってもかわいいです！

4月で満１歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝3月10日㈬まで（必着）。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は９人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。

地域づくりコーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

文化財をいかした地域の活性化に取り組む

宮野河内地区振興会（髙坂眞教（しんきょう）会長）

河浦町の宮野河内地区には、２００年以上の歴史を持つ全国でも珍しい、「産島（うぶしま）八幡宮例祭」があります。この祭りは、上平（かみひら）地区の沖合い1.5kmに浮かぶ周囲約５kmの無人島〝産島〟にある同八幡宮から、対岸の上平十五社宮まで神輿（みこし）を船に乗せて渡ることから、『海を渡る祭礼』といわれており、毎年多くの観光客が訪れています。また、同八幡宮のそばにある池の水は、神功皇后（じんぐうこうごう）が後の応神（おうじん）天皇を出産した時期に飲んだと言い伝えられており、飲むと子宝や安産に効くといわれています。一方で、現在上平地区の住民が参加して行っているこの祭りも、少子高齢化による住民減少に伴い、神幸行列などを存続していくのが困難な状況が続いています。しかし、宮野河内の〝宝〟であるこの行事をなくすことはできません。私たち同地区振興会は、この〝宝〟を守り続けるためにも、祭りに積極的に関わりながら、あわせて地元でとれた海産物などの販売を行い、さらに多くの観光客を呼び込んで地域の活性化にいかしていきたいと思っています。

▲神幸行列のようす

煌（きら）めく人たち

「夫妻が描く理想郷での生活」

高瀬義明（よしあき）さん、輝子（てるこ）さん（新和町小宮地・70歳、68歳）

新和町小宮地に住む高瀬さん夫妻。夫の義明さんは、東京で店舗デザイナーの仕事をしていたが、田舎暮らしに憧れを持っていた。「海の見えるところに住みたい」と、インターネットで調べたが、なかなか好みの物件が見つからなかった。そんな中、新和町の物件を知り、平成18年1月、当時の新和町役場を尋ねた。紹介してもらった物件は、海岸沿いにあり、イメージ通り、早速住むことを決めた。

ところが、住み心地は快適だが、妻の輝子さんには「あまりにも静かすぎるので、いろんな人とおしゃべりしたい」との思いがあった。また、義明さんも「街中で食べるものを田舎で食べれたら楽しいのでは」と考えるようになり、趣味のパスタ料理をいかした店を開くことを決意した。営業許可を得るために、何度も保健所に通い自宅を改装し、昨年3月に無事オープン。「ゆっくりとおしゃべりをしながら食事をしていただきたい」と、店内は天井が高くゆったりとした造りで、ジャズ音楽が流れ、落ち着いた空間を生み出している。「私たちなりにお客様を大切にし、感謝の気持ちを忘れないことを常に思っている」と夫妻は語る。

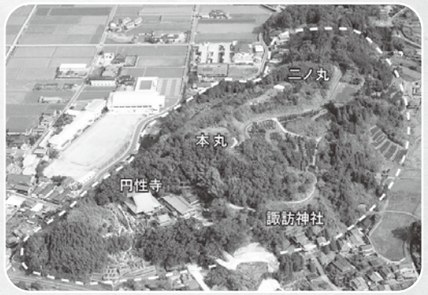
「海は毎日見ても飽きない。最近は季節を感じるようになった」と輝子さん。義明さんも「毎日、海の色が変わり、自然のすばらしさを実感している」と語る。

にぎやかな都会から静かな田舎に移り住んで4年が経過する。「この店をきっかけに、この海岸線にも湘南海岸のようにいろいろな店ができれば」と夫妻は夢を描く。

現代に息（い）づく 歴史の証（あかし）

「栖本城跡」（栖本町）

栖本町にある栖本城跡は、丘陵を利用して築かれた中世の城郭で、昭和51年に市（旧栖本町）の史跡に指定しています。山頂部の平らな場所が本丸跡（右写真参照）で、若干の土師器（はじき）皿なども採集され、東側には堀切も残っています。この城は、いわゆる“天草五人衆”の１人で、栖本一帯を支配した栖本氏の居城です。五人衆は、それぞれの地域を領有しながら抗争と和平を繰り返していましたが、この中で一貫して敵対関係にあったのが、同じ上島に勢力を持つ栖本氏と上津浦氏です。両氏の抗争は何度も繰り返され、栖本城も戦いの舞台になったと考えられます。



▲空から見た栖本城跡（点線が城域）

その後、天草五人衆の時代が終わり、栖本氏は天草を離れましたが、唐津藩主の寺沢廣高（ひろたか）が天草を支配した時代には、配下の高畠忠兵衛（たかはたちゅうべえ）が城代として置かれたようです。現在は、本丸部分が公園化され、３月下旬ごろには桜が見ごろを迎えます。

皆さん、ぜひお出かけください。